

平成28年度

東京大学

推薦入試学生募集要項

(予告)

出願期間：平成27年11月2日(月)～11月6日(金)

※この資料は平成27年3月現在での予定であり、変更の可能性があります。
出願に当たっては、平成27年7月頃に公表する正式な「平成28年度東京
大学推薦入試学生募集要項」を必ず確認してください。

目 次

東京大学推薦入試のアドミッション・ポリシー	1
平成 28 年度 東京大学推薦入試実施日程	2
個人情報の取扱いについて	3
I 出願に当たっての注意事項	4
II 出願資格	5
III 募集人員	5
IV 推薦要件等	6
V 入学者選抜方法	6
(1) 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目	6
(2) 各学部の面接等の日程と会場	9
VI 各学部の教育研究と推薦要件・面接方法等	9
(1) 各学部の教育研究	9
(2) 各学部の推薦要件・面接方法等	10
VII 出願期間・提出方法	30
(1) 出願期間	30
(2) 提出方法	30
(3) 検定料	30
VIII 提出書類・資料	30
IX 合格者発表	31
(1) 第 1 次選考の結果発表・通知	31
(2) 最終合格者発表・通知	32
X 入学手続	32
XI 入学後の学修	32

東京大学推薦入試について

東京大学は平成 28 年度から推薦入試を行います。
推薦要件等に記載のとおり、次のような方が出願してください。

- ・ 各学部の学問分野に対する強い関心及びこれを本学で学ぶ積極的な意欲を持つ方
- ・ 合格した場合には入学を確約できる方

また、出願に当たっては、高等学校等の学校長からの推薦が必要です。出願を考えている方は、在学している、又は卒業した高等学校等に相談をしてください。

東京大学推薦入試のアドミッション・ポリシー

東京大学の使命と教育理念

1877年に創立された我が国最初の国立大学である東京大学は、国内外の様々な分野で指導的役割を果たしうる「世界的視野をもった市民的エリート」（東京大学憲章）を育成することが、社会から負託された自らの使命であると考えています。このような使命のもとで本学が目指すのは、自国の歴史や文化に深い理解を示すとともに、国際的な広い視野を持ち、高度な専門知識を基盤に、問題を発見し、解決する意欲と能力を備え、市民としての公共的な責任を引き受けながら、強靱な開拓者精神を発揮して、自ら考え、行動できる人材の育成です。

そのため、東京大学に入学する学生は、健全な倫理観と責任感、主体性と行動力を持っていることが期待され、前期課程における教養教育（リベラル・アーツ教育）から可能な限り多くを学び、広範で深い教養とさらに豊かな人間性を培うことが要求されます。この教養教育において、どの専門分野でも必要とされる基礎的な知識と学術的な方法が身につくとともに、自分の進むべき専門分野が何であるのかを見極める力が養われるはずで、本学のカリキュラムは、このように幅広く分厚い教養教育を基盤とし、その基盤と有機的に結びついた各学部・学科での多様な専門教育へと展開されており、そのいずれもが大学院や研究所などで行われている世界最先端の研究へとつながっています。

期待する学生像

東京大学は、このような教育理念に共鳴し、強い意欲を持って学ぼうとする志の高い皆さんを、日本のみならず世界の各地から積極的に受け入れたいと考えています。東京大学が求めているのは、本学の教育研究環境を積極的に最大限活用して、自ら主体的に学び、各分野で創造的役割を果たす人間へと成長していこうとする意志を持った学生です。何よりもまず大切なのは、上に述べたような本学の使命や教育理念への共感と、本学における学びに対する旺盛な興味や関心、そして、その学びを通じた人間的成長への強い意欲です。そうした意味で、入学試験の得点だけを意識した、視野の狭い受験勉強のみに意を注ぐ人よりも、学校の授業の内外で、自らの興味・関心を生かして幅広く学び、その過程で見出されるに違いない諸問題を関連づける広い視野、あるいは自らの問題意識を掘り下げて追究するための深い洞察力を真剣に獲得しようとする人を東京大学は歓迎します。

推薦入試の基本方針

東京大学の推薦入試は、学部学生の多様性を促進し、それによって学部教育の更なる活性化を図ることに主眼を置いて実施します。実施に当たっては、日本の中等教育における先進的取組を積極的に評価し、高等学校等の生徒の潜在的多様性を掘り起こすという観点から、日本の高等学校等との連携を重視します。

推薦入試による選抜に当たっては、本学の総合的な教育課程に適応しうる学力を有しつつ、本学で教育・研究が行われている特定の分野や活動に関する卓越した能力、もしくは極めて強い関心や学ぶ意欲を持つ志願者を求めます。東京大学は、推薦入試で入学した学生が、東京大学、ひいてはグローバル社会の活力の源として活躍することを期待しています。

平成 28 年度 東京大学推薦入試実施日程

日 程	項 目
平成 27 年	
11 月 2 日 (月) ～ 6 日 (金)	出願受付
12 月 1 日 (火)	第 1 次選考の結果発表 (本学 Web サイト 及び本学携帯電話サイトに掲載)
12 月 1 日 (火) 頃 (郵送)	第 1 次選考の結果を学校長と志願者あてに 通知
12 月 1 日 (火) 頃 (郵送)	第 2 次選考受験票等送付
12 月 19 日 (土) ・ 20 日 (日)	面接等実施 ※学部ごとの日程の詳細は p. 9 参照
平成 28 年	
1 月 16 日 (土) ・ 17 日 (日)	大学入試センター試験実施
2 月 10 日 (水)	最終合格者発表 (本学 Web サイト及び本学 携帯電話サイトに掲載) ※上記のほか, 学校長と志願者あてに「結 果通知書」を郵送します。
2 月 11 日 (木) ～ 17 日 (水) (郵送により手続)	入学手続

個人情報の取扱いについて

個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「東京大学の保有個人情報の適切な管理のための措置に関する規則」に基づいて取り扱います。

1. 出願に当たって知り得た氏名、住所その他の個人情報は、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格者発表、③入学手続業務を行うために利用します。
2. 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用します。
3. 上記1及び2の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。
ついては、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部または一部を提供します。
4. 国公立大学の分離分割式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、受験番号、大学入試センター試験の受験番号、合否及び入学手続に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願の国公立大学に送付します。
5. 出願に当たって知り得た個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績は、入学者のみ①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等）、③授業料徴収関係の業務を行うために利用します。

I 出願に当たっての注意事項

[本学一般入試（前期日程）との併願について]

- ・ 推薦入試に出願しても、本学が実施する「前期日程試験」への出願は可能です。ただし、別途出願手続きをする必要があります。詳細は「平成28年度東京大学入学者募集要項」を確認してください。なお、推薦入試に合格し、2月17日（水）までに入学手続きを行った者は、「前期日程試験」を受験してもその合格者になりません。

[他の国公立大学等との併願について]

- ・ 本学を含め、国公立大学の推薦入試（大学入試センター試験を課す場合、課さない場合を含めて）へ出願できるのは、1つの大学・学部です。
 - ・ 推薦入試に不合格になった場合に備えて、別途国公立大学・学部の一般入試に出願することができます。
 - ・ 志願者は、分離分割方式により入学試験を行う国公立大学・学部（※）のうち、「前期日程」で試験を実施する大学・学部から1つ、「後期日程」で試験を実施する大学・学部から1つ、合計2つの大学・学部に出願することができます。なお、本学では、「後期日程」試験は実施していません。
- ※ 独自の日程で入学者選抜を行う公立大学・学部については、公立大学協会 Web サイト（<http://www.kodaikyo.org/>）を参照。

[大学入試センター試験について]

- ・ 志願者は、平成28年度大学入試センター試験のうち、志望する学部が指定する教科・科目のすべて（「V 入学者選抜方法」を参照）を受験してください。なお、本学では大学入試センター試験の過年度の成績は利用しませんので、平成28年度大学入試センター試験を必ず受験してください。

[提出書類・資料について]

- ・ 提出書類・資料に不備がある場合は受理しません。
- ・ 出願手続き後は、いかなる理由があっても、提出書類・資料の変更は認めません。
- ・ 受理した提出書類・資料は、いかなる理由があっても返却しません。
- ・ 出願手続きに不正の事実があった場合には、入学許可の後であってもこれを取り消します。

[後期課程への進学について]

- ・ 本学に入学を許可された学生は、教養学部にも所属して前期課程2年間の学修をした後、後期課程へ進学します。
- ・ 推薦入試による入学者が後期課程で進学する学部・学科等は出願時の志望により決定されます。ただし、前期課程の修了要件を満たす必要があります。

[障害等のある入学志願者について]

- ・ 本学では障害等のある者が、受験上及び修学上不利になることがないように、必要な配慮を行っており、そのための相談を常時受け付けています。受験上の配慮については、内容によって、対応に時間を要することもありますので、出願する前のできるだけ早い時期に東京大学推薦入試担当室まで相談してください。

相談の結果、受験上の配慮が必要であると判断される場合には、本学所定の申請書、医師の診断書等必要書類の提出により、本学でその内容を審査の上、それぞれの障害の種類・程度に応じた受験上の配慮を決定します。また、必要な場合には、志願者等との面談等を行うこともあります。

II 出願資格

出願できる者は、次のいずれかに該当する者とします。

- ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び平成28年3月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成28年3月修了見込みの者
- ③ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成28年3月31日までに修了見込みの者

III 募集人員

平成28年度推薦入試において、入学を許可する学生の募集人員は、100人です。

なお、各学部等の大まかな募集人員は、次のとおりです。また、合格者が募集人員に満たない場合には、原則として、残余の募集人員は、各学部（医学部においては、医学科、健康総合科学科）が主に対応する科類（p. 32～33）の前期日程試験の募集人員に繰り入れます。

法学部	10人程度	経済学部	10人程度
文学部	10人程度	教育学部	5人程度
教養学部	5人程度	工学部	30人程度
理学部	10人程度	農学部	10人程度
薬学部	5人程度		
医学部	5人程度（うち、医学科3人程度、健康総合科学科2人程度）		

IV 推薦要件等

- 学部ごとに定める推薦要件（p.10～29）に該当し、当該学部の学問分野に対する強い関心及びこれを本学で学ぶ積極的な意欲を持ち、学校長が責任をもって推薦できる者
- 合格した場合、必ず入学することを確約できる者
- 平成28年度大学入試センター試験のうち、志望する学部が指定する教科・科目のすべてを受験する者

学校長が本学に推薦できる人数は、上記の要件のすべてに該当する男女各1人までとします。男女いずれかのみが在学する学校においては、推薦できる人数は1人となります。なお、同一の志願者を複数の学部におすすめすることはできません（医学部においては、医学科と健康総合科学科の併願も不可）。

V 入学者選抜方法

合否判定は、提出書類・資料の内容、面接等の審査結果及び大学入試センター試験の成績を総合的に評価して行います。

- ① 提出書類・資料の内容により第1次選考を行い、第1次選考合格者に対して学部ごとに面接等の第2次選考を実施します。面接等の実施方法の詳細については、p. 10～29を参照してください。
- ② 提出書類・資料の内容と面接等の審査結果及び大学入試センター試験の成績を総合的に評価した上で、最終合格者を決定します。

大学入試センター試験は、入学後の学修を円滑に行い得る基礎学力を有しているかどうかを判断する観点から、概ね8割以上の得点であることを目安とします。

（1）大学入試センター試験の受験を要する教科・科目

志願者は、平成28年度大学入試センター試験のうち、志望する学部が指定する教科・科目のすべてを受験してください。指定された教科・科目を1つでも受験していない場合は、合格者にはなりません。また、教育学部及び教養学部については、以下①、②のいずれで受験をしても構いません。

① 法学部，経済学部，文学部，教育学部，教養学部

(5教科8科目又は6教科8科目)

教科	科目 ※[]内は，経過措置として旧教育課程から出題される科目	科目選択の方法
国語	『国語』	必須
地理歴史	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	左の4科目のうちから2科目を選択
公民	『倫理，政治・経済』	
数学	『数学Ⅰ・数学A』	必須
	『数学Ⅱ・数学B』 『簿記・会計』 『情報関係基礎』 [「工業数理基礎」]	左の3科目のうちから1科目を選択 ただし、『簿記・会計』、『情報関係基礎』を選択できる者は，高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者だけです。 旧教育課程履修者のうち，高等学校又は中等教育学校において「工業数理基礎」を履修した者に限り，新教育課程による出題科目・科目選択の方法に加え，「工業数理基礎」を選択することができます。
理科	「物理基礎」(「物理」) 「化学基礎」(「化学」) 「生物基礎」(「生物」) 「地学基礎」(「地学」)	左の基礎を付した4科目のうちから2科目を選択 ただし，「基礎を付していない科目」を2科目選択した場合には，「基礎を付した科目」を選択したものとみなします。(注)
外国語	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』	左の5科目のうちから1科目を選択 なお、『英語』についてはリスニングの成績を含むものとし，筆記(200点満点)とリスニング(50点満点)の合計得点(250点満点)を200点満点に換算して利用します。

- (注) (1)「基礎を付した科目」とは，物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎を指します。
(2)「基礎を付していない科目」とは，物理，化学，生物，地学を指します。
(3) 物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎の4科目の中から2科目と，物理，化学，生物，地学の4科目の中から1科目を選択した場合には，基礎を付した2科目を利用します。
(4) 物理，化学，生物，地学の4科目の中から2科目を選択した場合には，合計得点(200点満点)を100点満点に換算して利用します。

② 工学部, 理学部, 農学部, 薬学部, 医学部, 教育学部, 教養学部

(5教科7科目)

教科	科目 ※ [] 内は, 経過措置として旧教育課程から出題される科目	科目選択の方法
国語	『国語』	必須
地理歴史	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	左の4科目のうちから1科目を選択 なお, 地理歴史及び公民の試験時間において2科目を受験した場合には, 第1解答科目の成績を合否判定に利用します。(注)
公民	『倫理, 政治・経済』	
数学	『数学Ⅰ・数学A』	必須
	『数学Ⅱ・数学B』 『簿記・会計』 『情報関係基礎』 [「工業数理基礎」]	左の3科目のうちから1科目を選択 ただし, 『簿記・会計』, 『情報関係基礎』を選択できる者は, 高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者だけです。 旧教育課程履修者のうち, 高等学校又は中等教育学校において「工業数理基礎」を履修した者に限り, 新教育課程による出題科目・科目選択の方法に加え, 「工業数理基礎」を選択することができます。
理科	「物理」 「化学」 「生物」 「地学」	左の4科目うちから2科目を選択
外国語	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』	左の5科目のうちから1科目を選択 なお, 『英語』についてはリスニングの成績を含むものとし, 筆記(200点満点)とリスニング(50点満点)の合計得点(250点満点)を200点満点に換算して利用します。

(注)「地理歴史, 公民」の試験時間に2科目を受験した場合において, 前半の60分間で解答した科目を第1解答科目, 後半の60分間で解答した科目を第2解答科目といいます。(詳細は, 大学入試センターWebサイト <http://www.dnc.ac.jp/> 等を参照してください。)

なお, 第1解答科目で本学が指定していない科目を受験した場合には, たとえ第2解答科目で本学が指定する科目を受験した場合でも, 合格者となりません。

(2) 各学部の面接等の日程と会場

各学部（医学部においては医学科または健康総合科学科）の面接等は、次の日程で実施します。文学部及び教育学部は、第1次選考合格者全員に12月19日（土）及び20日（日）の両日にわたって、工学部と医学部は12月19日（土）及び20日（日）のいずれか学部が指定する日に面接等を行います。

	会場 キャンパス	日 程
法学部	本郷	12月19日（土）
経済学部	本郷	12月19日（土）
文学部	本郷	12月19日（土）・20日（日）の両日
教育学部	本郷	12月19日（土）・20日（日）の両日
教養学部	駒場	12月19日（土）
工学部	本郷	12月19日（土）・20日（日）のいずれか学部が指定する1日
理学部	本郷	12月20日（日）
農学部	本郷	12月20日（日）
薬学部	本郷	12月19日（土）
医学部医学科	本郷	12月19日（土）・20日（日）のいずれか学部が指定する1日
医学部健康総合科学科	本郷	12月19日（土）・20日（日）のいずれか学部が指定する1日

※ 集合時間や会場建物等については、「第2次選考受験票」等送付時（12月1日（火）頃）にお知らせします。

VI 各学部の教育研究と推薦要件・面接方法等

(1) 各学部の教育研究

各学部の教育研究の内容については、次の本学Webサイトを参照してください。

法学部	http://www.j.u-tokyo.ac.jp/
経済学部	http://www.e.u-tokyo.ac.jp/
文学部	http://www.l.u-tokyo.ac.jp/
教育学部	http://www.p.u-tokyo.ac.jp/
教養学部	http://www.c.u-tokyo.ac.jp/
工学部	http://www.t.u-tokyo.ac.jp/epage/
理学部	http://www.s.u-tokyo.ac.jp/ja/
農学部	http://www.a.u-tokyo.ac.jp/index.html
薬学部	http://www.f.u-tokyo.ac.jp/
医学部	http://www.m.u-tokyo.ac.jp/

(2) 各学部の推薦要件・面接方法等

学部名	法学部
募集人員	10人程度
求める学生像	現代社会、とりわけグローバルな場でリーダーシップを発揮する素質を持つ学生。すなわち、優れた基礎的学力を備えるとともに、現代社会のかかえる諸問題に強い関心を持ち、実社会の様々な事象から解決すべき課題を設定する能力、さらには他者との対話を通じて、その課題の解決に主体的に貢献する能力を有する学生。
推薦入試入学者に対する教育方針	グローバルな場で活躍するために基礎となる幅広い視野をそなえ、法的思考と政治学的識見の基礎を身に付けた人材の養成をめざす教育を行います。 本入試で入学した学生に対しては、学生の関心に応じて発展的内容の学習を可能にするため、前期課程において法学部専門科目の受講を許可し、後期課程において大学院（法学政治学研究科）の授業科目の受講を許可します。また、履修について個別的に助言・支援する教員を配置します。
推薦要件	以下のすべてに該当する者とします。 (1) 学業成績に秀でていること。(各校の上位概ね5%以内) (2) 現実の中から本質的な問題を発見し、独創的な形で課題を設定する能力を有すること。 (3) 問題の解決に向けてイニシアティブを発揮できること。 (4) 異なる文化的背景や価値観を有する他者とのコミュニケーション能力に優れていること。
学部が求める書類・資料	各学部共通に求める調査書等のほか、志願者が本学部の推薦要件に合致することを具体的に証明する資料 ^{※a} 。例えば、 (1) 在学中に執筆した論文で、志願者の問題発見能力・課題設定能力を証明するもの ^{※b} (2) 社会に貢献する活動の内容を具体的に証明する資料(表彰状、新聞記事等) (3) 留学経験など、志願者が異なる文化的背景や価値観への理解を有することを示す資料(留学の事実を証明する資料、外国人との交流や支援活動を行ったことを示す第三者の推薦状など) (4) 国際通用性のある入学資格試験における優秀な成績を証明する資料(国際バカロレア、SATなど) (5) 外国語に関する語学力の証明書(TOEFL、英検、IELTS、TestDaF、DALF、HSKなど)などです。
面接等の方法	グループ・ディスカッション及び個別面接を行います。 ^{※c}

- ※a 志願者が本学部の推薦要件に合致することを具体的に証明する資料は、日本語以外で書かれていても差し支えありません。ただし、日本語と英語以外の言語の場合は、志願者の責任において日本語で全訳を添付するとともに、翻訳者または翻訳した機関を明記してください。翻訳について大使館等の公的証明を付す必要はありません。
- ※b 論文は、何らかの意味で社会に関わるテーマを扱うものとしします。法学や政治学に関するものである必要はありません。高校の授業の一環として作成された論文であるかどうかは問いません。また、校内・校外のコンクールで入賞した論文であるかどうかも問いません（入賞した事実があれば賞状のコピー等を添付してください）。グループで作成した論文は認められません。論文の分量の目安は、日本語の場合、図表部分を除いて6,000字以上としますが、分量よりも内容が重視されます。参照した文献やインターネット情報等については、論文末尾に「参考文献」として一括提示するだけでなく、引用箇所にその都度出典・情報源を注記してください。
- ※c グループ・ディスカッションは、その場で与えられたテーマについて、少人数のグループで議論してもらい、論理的思考力、発想力、コミュニケーション能力などを審査します。個別面接では、提出書類・資料に関連する質問などを通して、法や政治に対する関心と、それを学ぶ能力とを確認します。

学部名	経済学部
募集人員	10人程度
求める学生像	いずれかの分野において卓越した能力を有し、その才能を生かして全く新しいビジネスまたは社会の枠組みを創造しようとする高い志を持つ学生。
推薦入試入学者に対する教育方針	個の才能を生かすために必要な、経済社会の複雑な諸現象を体系的に理解する能力を養成します。前期課程において、履修に関する相談や支援をする学部教員を配置し、必要に応じて本郷での講義・演習の受講を許可します。
推薦要件	以下のすべてに該当する者とします。 (1) いずれかの分野で高等学校等の生徒として飛びぬけた才能を有すること。(必ずしも学術分野に限らないが、上の「求める学生像」にふさわしい能力であること) (2) 他者との対話性に優れ、経済分野に強い関心を有すること。 (3) 高等学校等において英語、数学、地理歴史・公民のうちいずれかの2教科において成績が優秀 ^{※a} であること。(地理歴史・公民はいずれかの1科目のみを対象とする。)
学部が求める書類・資料	各学部共通に求める調査書等のほか、上記推薦要件の(1)に該当すると判断できる客観的根拠を示す資料の提出を求めます。例えば、 (1) 数学オリンピックなどの科学オリンピックで顕著な成績をあげたことを示すもの (2) 英語その他の外国語に関する語学力の試験(TOEFL, 英検, IELTS, TestDaF, DALF, HSK など)において高得点を取ったこと示すもの (3) 全国レベルの大会・コンクールでの入賞記録 (4) 留学を含む様々な国際的活動で、その内容が第三者によって高く評価されたものについて、その詳細や評価内容を記した文書(新聞記事など) ^{※b} などです。 ※上記(1)～(4)の資料と併せて、本人が執筆した特に優れた論説や論文などを添付することも可能です。
面接等の方法	個別面接を行います。 ^{※c}

※a 各教科・科目について高等学校等内で上位10%に入る成績をおさめていること。

※b 本人、所属校、受け入れ校以外の第三者が評価したもの。例えば、新聞の記事になった事例や現地の公的機関で表彰された事例など。留学を伴わない国内での国際的活動を含む。

※c 面接時間は30分から1時間程度を予定しています。面接時に課題遂行能力を試すための課題を課す場合があります。

学部名	文学部
募集人員	10人程度
求める学生像	人間のさまざまな精神的営み（言語・文学・思想・芸術等）や、人間の織りなす社会の歴史と現代の諸問題に関する探究心に富み、自らの考えたことを口頭発表や論文などを通して他者に伝える能力を有し、将来、社会的な貢献が期待できる学生。
推薦入試入学者に対する教育方針	入学当初の高い勉学意欲と人間・社会に対する関心を維持し、より高度な専門的知識に裏付けられた研究へとつなげるために、適切な導入教育と面談指導を行うとともに、前期課程から必要に応じて文学部の講義・演習の受講を認めます。
推薦要件	以下のすべてに該当する者としてします。 (1) 学業成績に秀でていること。 (2) 人文社会系諸学に関連する分野において、卓越した能力を有することを示す実績があること、あるいは課外活動やボランティアなどの社会貢献活動において、何らかの賞を受けるなど優れた成果をあげたこと。
学部が求める書類・資料	各学部共通に求める調査書等のほか、上記推薦要件に該当すると判断できる客観的根拠を示す資料の提出を求めます。例えば、 (1) 在学中に「総合的な学習の時間」または自主的な研究活動などを通して学び、考えたことをまとめた論文。 (2) 課外活動、ボランティアなどの社会貢献活動の具体的な内容と成果をまとめた論文。 (3) 外国語に関する語学力の証明書（TOEFL、英検、IELTS、TestDaF、DALF、HSK など）。 (4) 何らかの賞を受けた場合は、それを証明する書類。 などですが、(1) または (2) を特に重視します。 ^{※a}
面接等の方法	1日目に小論文を課し、2日目に面接を行います。 面接は、志願者が提出した論文や「志願理由書」にもとづき、在学中の自らの学習・研究活動または社会貢献活動等の内容、および文学部で学びたいことに関して10分以内のプレゼンテーションを行い、それについて、面接教員との質疑応答を行います。 ^{※b}

※a (1) または (2) の論文について、

- ①グループで制作した論文ではなく、個人で執筆したものに限りします。
- ②参照した先行文献やインターネット情報等に関しては、末尾に「参考文献」として一括掲示するだけでなく、脚注などを用いて適切に引用元の情報を提示してください。
- ③なるべくワープロ・ソフトを用いて作成してください。分量は、4,000～8,000字程度を目安とします。
- ④すでに雑誌等に掲載されたもので、上記①②の条件を満たすものがあれば、そのコピーを提出してもかまいません。その場合、字数は問いませんが、使用言語は日本語、英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ロシア語、中国語、韓国語のいずれかに限りします。また、掲載誌の表紙と発行年等を示す奥付のコピーも添えてください。
- ⑤800字程度の要旨（日本語）も提出してください。

※b プレゼンテーションに際して資料を提示したい場合は、事前に作成したポスター1枚に限り使用を認めます。ポスターのサイズは最大で縦120cm、横85cm（A0サイズ相当）とします。

学部名	教育学部
募集人員	5人程度
求める学生像	自ら設定した課題を探究する卓越した資質・能力を有する学生。これまでに取り組んだ探究学習は特に教育分野に限定しないが、なぜ教育学部を志望するのかについて明確な考えをもっていることを求めます。
推薦入試入学者に対する教育方針	発達・教育に関する諸現象についての理解を深め、研究する能力を身に付けるため、前期課程から、教育学部教員が開講する一般教養科目および専門科目を優先的に受講できるものとします。また、履修について個別に助言・支援するアドバイザー教員を配置します。
推薦要件	以下(1)、(2)ともに該当する者としてします。 (1) 本学のカリキュラム履修に必要な、教科の基礎学力があること。 (2) 探究学習の卓越した実績・能力を、論文、作品、発表等を通じて示すことができること。
学部が求める書類・資料	各学部共通に求める調査書等のほか、上記推薦要件に該当することを示す客観的根拠となる以下の資料の提出を求めます。 (1) 在学中に作成した論文、作品、発表の内容を示す資料等で、志願者の卓越した探究能力を示すもの。 (2) 上記(1)に関して、国際的もしくは全国的なコンクールやコンテストでの受賞歴、あるいは、学会の高校生セッション等での発表経験などがあれば、それを証明する資料を添付してください。 その他、参考資料として、探究能力もしくは教育への意欲・関心を示すような資料があれば添付してください。
面接等の方法	個別に面接(発表や課題遂行 ^{※a} を含む)を行い、総合的に審査します。

※a 筆記による文章作成の場合もあります。

学部名	教養学部
募集人員	5人程度
求める学生像	文系理系にかかわらず、複数の学問分野を横断する関心や新しい分野に挑戦する意欲をもち、将来にわたって、グローバル時代における諸問題の解決を目指す高い志をもつ学生。
推薦入試入学者に対する教育方針	多様な世界への好奇心を絶やさず、グローバル化が進む現代の諸課題に取り組む能力をそなえた学生を育成します。 (1) 1年次からの外国留学を奨励し、さまざまな支援を行いません。 (2) 教養学部後期課程の科目について、教員の助言に基づいて、前期課程での早期受講を認めます。 (3) 履修について助言・支援する教員を、入学者の志望分野に合わせて個別に配置します。
推薦要件	以下のすべてに該当する者とします。 (1) 自ら課題を発見して探究する卓越した能力をもつ者。 (2) 2つ以上の科目(志望分野に関連する科目を含む)で卓越した能力をもつ者。 (3) すぐれた外国語能力を有する、もしくは国際的なプログラムや活動について経験や関心を有する者。
学部が求める書類・資料	各学部共通に求める調査書等のほか、上記推薦要件に該当すると判断できる客観的根拠として、以下のいずれかの資料(複数可)の提出を求めます。 (1) 在学中に執筆した課題論文等 ^{※a} (2) 科学オリンピックなど志望分野にかかわる各種コンテストの成績 ^{※b} (3) 外国語に関する語学力の証明書(TOEFL, 英検, IELTS, TestDaF, DALF, HSK など) (4) 国際通用性のある入学資格試験の成績を証明する資料(国際バカロレア, SAT など) (5) その他、特筆すべき活動の成果 ^{※c}
面接等の方法	面接による審査を行います。 ^{※d} また、必要に応じて、外国語(英・独・仏・中・韓・露・西・伊)の面接を含むことがあります。

※a 当該論文等の性質(授業の課題として執筆されたものか、課外活動に関連して執筆されたものか等)を説明する資料(校長または担任教員等による)を添付してください。グループによる成果の場合は、本人の貢献部分についての説明も加えてください。

※b 当該コンテストの概要を説明する資料及び成績を証明する資料を添付してください。

※c (1)～(4)には該当しないが、国際活動や地域・社会貢献活動など、特にアピールしたいものがある場合は、その概要と成果を説明する資料を添付してください。

※d 面接に先立って、志望に応じた課題による小論文等を課します。

学部名	工学部
募集人員	30人程度
求める学生像	<p>社会の多様な問題を科学的なアプローチで解決することに興味を持ち、</p> <p>(1) 自ら問題設定を行い、柔軟な思考ができる能力</p> <p>(2) 興味を持つ分野の学習のみならず、問題解決に関連する幅広い分野の学習を自律的に行うことができる能力</p> <p>(3) 異なる思考様式や文化的背景を持つ人々とのコミュニケーション能力</p> <p>を有し、専門知識を駆使して、社会の様々な課題の解決に主体的に貢献することが期待できる素質を有する学生。</p>
推薦入試入学者に対する教育方針	<p>東京大学工学部は、豊かな教養、国際性、科学技術に対する体系的な知識を身につけ、研究、開発、設計、生産、計画、経営、政策提案等において、工学的手法を活用して人類社会の持続と発展に貢献できる指導的人材を養成することを目的としています。</p> <p>出願時には5つの学修領域^{*1}のうちの1つを選択します。前期課程においては、学修領域に対応して学生の志望分野につながる基礎的学習を行います。大学での学習を通じて工学の多様性を俯瞰し、自らが志望する分野の概要とこれを学ぶ意義を深く理解し、必要となる基礎学力を身につけることができるよう、領域ごとに学習について個別に助言・支援する教員を配置します。また後期課程ならびに大学院につながる、工学専門教育を早期に受ける機会を設けます。</p> <p>*1 学修領域の例</p> <p>(1) 情報 数学 システム、</p> <p>(2) 電気 機械 物理、</p> <p>(3) 物理 材料、</p> <p>(4) 化学 生物 材料、</p> <p>(5) 建築 社会技術</p>
推薦要件	<p>高等学校等の学習内容について十分な基礎学力を有しており、以下に示す資質を有することを示す、あるいはこのような資質の涵養に資する特色ある活動^{*2}を経験している者とします。</p> <p>(1) 自ら問題設定を行い、かつ柔軟な思考ができること</p> <p>(2) 社会の多様な問題に対して関心をもち、それを科学的なアプローチで解決することに興味を持つこと</p> <p>(3) 問題意識に基づき、専門分野の学習のみならず、問題解決に関連する幅広い分野の学習を自律的に行えること</p> <p>(4) 異なる思考様式や文化的背景を持つ人々と協力して作業を行うことができる、外国語能力を含めた総合的なコミュニケーション能力を有すること</p>

	<p>*2 活動の例</p> <p>在学中に志願者が主導的な役割を果たしたことにより顕著な成果を挙げた活動（社会問題解決に取り組んだ社会貢献活動・国際的活動、部活動等）、全国レベルの大会・コンクールでの入賞につながった活動、特色ある高度な研究活動・創造活動、顕著な成績をあげた数学・物理・化学・生物オリンピックなどでの活動等</p>
学部が求める書類・資料	<p>各学部共通に求める調査書等のほか、志願者が本学部の推薦基準に合致することを具体的に示す以下すべての資料^{※a}</p> <p>(1) あらかじめ工学部が提示する特定の課題に対する小論文^{※b}</p> <p>(2) 高等学校等在学中に行った特色ある活動2件以内について（1件でも可）、当該活動が上記推薦要件に該当すると判断できる客観的根拠を示す資料とその活動内容を説明する資料（活動内容説明書^{※c}）</p> <p>(3) 高等学校等在学中に行った特色ある活動の詳細をよく知る人物（高等学校等の内外を問わない）による推薦書2通以内^{※d}</p> <p>※英語に関する語学力の証明書（TOEFL, 英検, IELTS など）、国際通用性のある入学資格試験における成績を証明する資料（国際バカロレア, SAT など）があれば添付してください。なおこれらは上記（2）の高等学校等在学中に行った特色ある活動には含めません。</p>
面接等の方法	提出書類・資料の内容の妥当性、コミュニケーション能力等を面接等により評価します。

※a 志願者が本学部の推薦要件に合致することを具体的に示す資料は、日本語以外で書かれていても差し支えありません。ただし、日本語と英語以外の言語の場合は、志願者の責任において日本語で全訳を添付するとともに、翻訳者または翻訳した機関を明記してください。翻訳について大使館等の公的証明を付す必要はありません。

※b 小論文は指定された書式を使用して自筆で作成してください。

※c 活動内容説明書では指定された書式を使用して、A4用紙2ページ以内にまとめてください。

※d 推薦書の作成者は、活動の詳細を客観的に評価できる方であれば高等学校等の内外を問いませんが、2親等内の親族は除きます。推薦書は指定された書式を使用して作成してください。

学部名	理学部
募集人員	10人程度
求める学生像	自然科学において卓越した能力を有する学生を求めます。
推薦入試入学者に対する教育方針	<p>自然科学への関心と知的冒険心を育み、未知の問題に対する解決の知恵と手段を体得して人類社会の持続的・平和的發展に貢献できる、創造力と表現力を備えたグローバルリーダーを育成します。</p> <p>推薦入試入学者向けに各学科の教員が専門科目の早期学習や研究分野選択に向けた個別指導を行います。また早期から希望研究室で最先端研究の現場に参加できる機会として、学部前期課程に研究室実習制度を設けます。</p> <p>学部前期課程2年次には、理学部が学内で開催する国際プログラムへの参加を認めます。また後期課程では国際派遣プログラムに優先枠を設けるなど、国際体験を奨励します。</p>
推薦要件	<p>自然科学に強い関心を持ち、自然科学の1つもしくは複数の分野において、卓越した能力を有することを示す明確な実績があること。(実績の例：科学オリンピック(数学、物理、化学、生物学、地学、情報)、高校生科学技術チャレンジ、日本学生科学賞など、国内外で開催された各種コンテストの上位入賞者、商品レベルのソフトウェア開発経験者など)</p> <p>国際活動、社会貢献活動、芸術・文化、スポーツなどでの意欲的な活動やリーダーシップを発揮した実績も評価に加味します。(実績の例：在任中に顕著な活動を行った生徒会会長、全国大会レベルでの入賞を果たした部やクラブで主導的な役割を果たしたものなど)</p>
学部が求める書類・資料	<p>各学部共通に求める調査書等のほか、上記推薦要件に該当すると判断できる客観的根拠を示す資料のうち、少なくとも1つ(複数提出可)の提出を求めます。(例えば、表彰状/認定証のコピー、受賞論文、開発したソフトウェアの概要資料など^{※a)})</p> <p>※英語に関する語学力の証明書(TOEFL, 英検, IELTS など)があれば添付してください。</p>
面接等の方法	個別面接を行います。各学科で要求される基礎学力や思考力, コミュニケーション能力を問います。

※a 査読を受けて雑誌に掲載された論文は受賞論文に準じるものとして扱いますので、論文(コピーでも可)を提出してください。開発したソフトウェアの概要資料には、ユーザ数・活用事例等、利用実績のわかる資料を添付してください。そのほか、国際活動、社会貢献活動、芸術・文化、スポーツなどでの意欲的な活動やリーダーシップを発揮した実績がある場合は、活動実績がわかる方からの推薦状(日本語もしくは英語で記載されたもの)を提出してください。

学部名	農学部
募集人員	10人程度
求める学生像	動物・植物・微生物がもつ多様な機能に興味をもち、それらを深く究明し、さらにそれらを応用して社会に役立てたいという強い意欲を有する学生。すなわち、自ら主体的に学ぶ姿勢をもち、生命に対する理解をもとに、食料・生物資源・生態系等に関わる諸問題の解決にグローバルな視点から貢献しようとする学生。
推薦入試入学者に対する教育方針	<p>農学を構成する基礎・応用諸科学に関する専門教育を段階的・体系的に行い、農学に課せられた諸問題の解決に必要な高度の専門知識と幅広い視野を有し、社会の要請に応えることのできる人材を育成することを目的とします。</p> <p>前期課程においては農学部の附属施設等を利用した早期実践教育プログラムを提供し、後期課程においては大学院授業科目の受講を可能とします。加えて、学修について個別に助言する教員を配置し、前期課程・後期課程を通して一貫した教育支援を行ないます。</p>
推薦要件	<p>以下のすべてに該当する者としてします。</p> <p>(1) 高い基礎学力を有する成績上位者であること。</p> <p>(2) 生物学あるいは農学に関連する特記すべき推薦事由を有すること。</p> <p>(3) 高等学校等において「生物」を履修していること。</p>
学部が求める書類・資料	<p>各学部共通に求める調査書等のほか、上記推薦要件に該当すると判断できる客観的根拠を示す以下の資料のうち、少なくとも1つ（複数提出可）の提出を求めます。なお、提出に当たっては、その概要の説明書^{※a}を求めます。</p> <p>(1) 生物学に関する研究成果あるいは論文^{※b}</p> <p>(2) 生物学や農学に関連する活動実績等の資料^{※c}</p> <p>(3) 日本生物学オリンピック、国際生物学オリンピック等の各種コンテスト参加者はその成績^{※d}</p> <p>※英語に関する語学力の証明書（TOEFL, 英検, IELTS など）があれば添付してください。</p>
面接等の方法	提出書類・資料の内容の妥当性、コミュニケーション能力等を面接により評価します。面接の一部として、生物学の能力を評価します。

- ※a (1) から (3) それぞれにつき 800 字以内で作成してください。また、個人で行ったものかチームで行ったものか、チームの場合はその中での役割等を明示してください。
- ※b 例として、以下のような資料を提出してください。
- ・研究成果を証明する資料や論文等の成果物
 - ・各種学会・研究会での発表を証明する要旨等の資料
- ※c 例として、以下のような資料を提出してください。
- ・「総合的な学習の時間」等での活動成果
 - ・インターンシップ、ボランティア、農業実体験等の活動を証明する資料
 - ・生物学、農学、農業に関連する各種の検定試験等の成績など
- ※d 例として、以下のような資料を提出してください。
- ・国内大会の成績、国際大会の準備チームに選出されたか、国際大会に選手として出場したか、国際大会に出場した場合の成績など

学部名	薬学部
募集人員	5人程度
求める学生像	最先端の薬学研究を将来大学院で学び、国際的研究者となる意思のある人材、薬剤師として医療高度化を推進する意思のある人材を求めます。
推薦入試入学者に対する教育方針	化学・生物・物理・医療を含む幅広い薬学分野におけるキャリアの方向性を早期に明確化させるために、以下のプログラムを受講させます。 (1) 薬学部の研究室において、前期課程から3年次の夏季休業期間での1ヶ月程度の実習を受講します。 (2) 4年次に、大学院の授業の受講を認めます。
推薦要件	以下のすべてに該当する者とします。 (1) 学業成績に秀でていること。 (2) 優れた科学能力と英語力を有すること。 (3) 自発的に目的を設定して学ぶ能力を有すること。 (4) 自分の考えが論理的に伝えられるコミュニケーション能力・文章構成能力に優れていること。
学部が求める書類・資料	各学部共通に求める調査書等のほか、上記推薦要件に該当すると判断できる客観的根拠を示す以下の資料のうち、少なくとも1つ(複数提出可)の提出を求めます。 (1) 科学オリンピックなど各種コンテストにおいて顕著な成績を挙げたことを証明する資料 (2) TOEFL iBT 100点以上もしくはIELTS 7点以上などに相当する高い英語力を証明する資料 (3) 留学経験を証明する資料および、それを今後の国際的な活躍にどのように活かすかを志願者が説明する文章 ^{※a} (4) 科学に関連する、学会・研究会での発表を証明する資料、もしくは作成した論文 ^{※b} ※上記(1)～(4)の資料の他、課外活動で科学分野以外に特筆すべき成果を示す資料(芸術、運動、ボランティアなど)を添付することも可能です。 ^{※c}
面接等の方法	個別面接を行います。 ^{※d}

- ※a 以下の書類・資料を提出してください。留学を証明する書類および留学先教員の推薦書は、日本語以外で書かれていても差し支えありません。ただし、日本語と英語以外の言語の場合は、志願者の責任において日本語で全訳を添付するとともに、翻訳者または翻訳した機関を明記してください。翻訳について大使館等の公的証明を付す必要はありません。
- ・留学を証明する書類
 - ・留学先教員の推薦書
 - ・留学経験およびそれを今後の国際的な活躍にどのように活かすかに関して説明する文章（A 4 用紙 2 ページ程度）
- ※b 以下の書類・資料を提出してください。
- ・該当する資料もしくは論文
 - ・担当教員による評価書
 - ・A 4 用紙 2 ページ程度の資料・論文の要旨および志望者の貢献を説明する文章（図表含む）
- ※c 以下の書類・資料を提出してください。
- ・A 4 用紙 2 ページ程度の概要および志望者の貢献を説明する文章
 - ・さらに添付資料がある場合には、その形式は定めません。
- ※d 高等学校等における特筆すべき活動、薬学部の志望理由、大学・大学院卒業後の自己の将来像に関して発表します。受験生は必要に応じて、A 4 用紙 2 ページ程度の資料を配布してもかまいません。発表内容と提出書類・資料に基づき、本人の学力・思考力・コミュニケーション能力等を審査します。

学部名・学科名	医学部医学科
募集人員	3人程度
求める学生像	<ul style="list-style-type: none"> ・生命現象のしくみの解明、疾病の克服および健康の増進に寄与する医学研究を推進するため、推薦入試枠を医学研究者養成枠と位置づけ、最先端の医学・生命科学研究を担う国際的研究者を育成するために活用します。 ・そのために、未知の生命現象の発見や革新的な医療につながる研究を長期的な視野のもとに実行する意欲と能力を持つ学生を受け入れ、サマープログラム等を活用した研究体験、学部進学後のPhD-MDコース（医学部在学中の大学院進学制度）への参加などを通じてリサーチマインドと研究能力を育成します。 ・また医学を学ぶにあたってはバランスのとれた人格と高い基礎学力が要求されるため、これらの点で基準を満たす学生を選抜します。
推薦入試入学者に対する教育方針	<p>在学中に生命現象のしくみの解明、疾病の克服および健康の増進に寄与する医学研究について幅広い知識と経験を身に付け、卒業後は最先端の医学・生命科学研究を担う国際的研究者へと発展する人材を育成します。</p> <p>1. 教養学部前期課程在籍時： 以下の教育プログラムを提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 医学部が駒場キャンパスで提供する「メディカルバイオロジー入門コース」などの講義への参加。 (2) 本郷キャンパスにおける分子細胞生物学の教科書を利用した少人数教育への参加。 (3) 夏季休業期間等を利用した医学部研究室での実習。 <p>2. 医学部医学科進学後： 以下の(1)のカリキュラムに3年生、4年生として参加し、その後に(2)のカリキュラムに参加することを原則とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) MD 研究者育成プログラム：2007年より開始した研究志向の学生を対象とした教育プログラム。通常医学科カリキュラムと並行して研究室での実験を行い、研究マインドを養成することを目的とします。海外短期留学、研究に必要な英語トレーニングなども実施。他大学との学生交流のための行事を開催。 (2) PhD-MD コース：医学部在学中に大学院に進学し、学位取得後に医学部に戻るコース。早期に本格的な研究体験を積むことを目的とします。本コース在学中は奨学金を支給します。

<p>推薦要件</p>	<p>以下のすべてに該当する者とします。</p> <p>(1) 高い基礎学力とバランスのとれた人格を持つこと。</p> <p>(2) 生命科学・医学研究への意欲と能力を持つこと。</p> <p>(3) 医学部進学後に研究者養成のための特別カリキュラムへの参加を望むこと。</p> <p>(4) 自然科学の領域においてきわめて高い能力を持つこと、あるいは非常に優れた語学力(英語力)とそれに伴う豊富な国際経験を持つこと。</p>
<p>学部が求める書類・資料</p>	<p>各学部共通に求める調査書等のほか、上記推薦要件に該当すると判断できる客観的根拠を示す以下の資料のうち、いずれか1つ(複数提出可)の提出を求めます。</p> <p>(1) 日本生物学オリンピック, 国際生物学オリンピック, 高校生科学技術チャレンジ, Intel International Science and Engineering Fair (Intel ISEF), 全国物理コンテスト, 国際物理オリンピック, 全国高等学校化学グランプリ, 国際化学オリンピックなど各種コンテストにおいて顕著な成績を挙げたことを証明する資料^{※a}</p> <p>(2) きわめて高い英語の語学力 (TOEFL iBT 100 点以上, IELTS 7 点以上相当) 及び豊富な国際経験を示す資料^{※b}</p>
<p>面接等の方法</p>	<p>高等学校等からの推薦書類に記載された能力や経験を確認するためのプレゼンテーションを行います。^{※c}その内容及び能力の確認のための質疑応答などを行い、適性を判断します。</p> <p>在学中には通常の医学科カリキュラムに加えて研究者育成のための特別プログラムに参加し、学業と研究活動を両立させる必要があります。この観点から、学力を判断するための大学入試センター試験の基準点は医学部医学科の場合には780点程度とします。</p>

※a これらの大会に関連した以下の情報について記載した資料を提出してください。

- ・参加したコンテストの名称，参加年度
- ・国内大会の成績
- ・国際大会の準備チームに選出されたか
- ・国際大会に選手として出場したか
- ・国際大会に出場した場合の成績

参加，成績等の証明書が存在する場合にはそのコピーを添付してください。

※b 以下の2種類の資料を提出してください。

- ・語学力についてはそれぞれの検定試験の成績を示す書類を添付してください。
- ・国際経験についてはA4用紙3ページ以内（およそ5,000字以内）で具体的な経験を本人が説明する文章を添付してください。

※c 面接審査に関連して以下の準備を行い，資料を提出してください。

- ・志願者は事前にポスターを作成し，面接審査の説明に使用してください（ポスターの規格は学会等で一般的に用いられるポスターに準じた規格となる予定です。サイズはA0：縦120センチ，横85センチ程度を予定しています）。面接ではポスターを掲示し，それを使って高等学校等在学中に行った主に自然科学に関連した活動と大学入学後の抱負について説明してもらいます。発表内容に関連した知識・能力について確認するための質問等を行う予定です。グループで行った活動の場合，本人の貢献した部分が明確になるように説明してください。
- ・ポスターの内容を事前に把握するため，ポスター発表の概略をA4用紙5ページ以内（図・表の使用可）で説明したものを出願時に提出してください。面接の際に使用するポスター自体を出願時に提出する必要はありません。

学部名・学科名	医学部健康総合科学科
募集人員	2人程度
求める学生像	<ul style="list-style-type: none"> ・人の健康をさまざまな分析法で探求する「ヘルスサイエンス」の研究チームにおけるグローバルリーダーを育成するために、推薦入試枠を活用します。 ・科学的・分析的思考能力に加え、統合力、マネジメント力、コーディネート力、発信力を持つ人材を育成します。 ・そのために、人間を敬いいのちを尊ぶバランスのとれた人格で、健康関連事象に対する探究心をもつ学生を求めます。
推薦入試入学者に対する教育方針	<p>医療保健分野におけるグローバルリーダーとなる人材を育成します。特に推薦入試入学者の個性的な知的探究心や行動力を伸ばすよう配慮するとともに、健康を守り高めるための生物的・社会的諸原則を理解し、各種施策を開発する能力、保健・看護サービスを提供する能力を育成します。</p> <p>1. 教養学部前期課程在籍時</p> <p>(1) 理科二類に在籍し、一般学生と同様の科目を履修するとともに、健康総合科学科が駒場で開講している科目「生きることを支える科学—看護学の最先端」「ヘルスサイエンスへの招待」などへ参加します。</p> <p>(2) 特例として、1年次より学科の教員（チューター）に、補習等に関する相談ができます。</p> <p>(3) 夏季休業・秋季休業期間等を利用して研究室訪問・実習を行います。</p> <p>2. 健康総合科学科進学後</p> <p>(1) 長期休業を利用した、国内外におけるボランティア活動（医学部附属病院・介護老人保健施設など）、または、厚生労働省などのインターンシップに参加し、教員から助言を受けることができます。</p> <p>(2) 関連領域を含めた大学院のプログラム（グローバルヘルスなど）に参加できます。</p> <p>(3) 研究室が行っている研究課題に、3年次より参加できます。</p> <p>(4) 当該学生が秀でている領域で、講義（シリーズ）を計画・実施できます。</p> <p>(5) 卒業論文の作成・発表のみならず、学会に参加・発表を経験できます。</p>
推薦要件	<p>以下のすべてに該当する者とします。</p> <p>(1) バランスのとれた人格であること。</p> <p>(2) きわめて高い基礎学力を有すること。</p> <p>(3) グローバルにコミュニケーションできる語学力（英語力）をもつこと。</p>

	<p>(4) チャレンジ精神に富み、忍耐力、柔軟性をもち、自己を高めることのできる精神力をもつこと。</p> <p>(5) 自然科学領域におけるきわめて高い能力および科学的探究心をもつこと。</p> <p>(6) チームの調整力があり、リーダーシップをもつこと。</p>
学部が求める書類・資料	<p>各学部共通に求める調査書等のほか、上記推薦要件に該当すると判断できる客観的根拠を示す以下の資料のうち、いずれか1つ（複数提出可）の提出を求めます。</p> <p>(1) きわめて高い英語の語学力を示す資料（TOEFL iBT 100点以上、IELTS 7点以上相当）^{※a}</p> <p>(2) 高いチャレンジ精神を示す課外活動体験についての資料（数か月以上の国際ボランティアなど）^{※b}</p> <p>(3) 日本生物学オリンピック、国際生物学オリンピックなど各種コンテストにおいて顕著な成績を挙げたことを証明する資料^{※c}</p> <p>(4) 高いリーダーシップ、チームの調整力を示す組織のリーダー的役割（生徒会長、文化祭運営委員長など）の経験を証明する資料^{※d}</p>
面接等の方法	<p>高等学校等からの提出書類・資料に記載された能力や経験を確認するためのプレゼンテーションを行います。^{※e} その内容および能力の確認のための質疑応答などを行い、適性を判断します。</p>

- ※a 検定試験の成績を示す資料を添付してください。
- ※b A4用紙5ページ以内（およそ8,000字以内）で具体的な体験内容を本人が説明する文章を添付してください。参加の証明書等が存在する場合にはそのコピーを添付してください。
- ※c これらの大会に関連した以下の情報について記載した資料を提出してください。
- ・参加したコンテストの名称，参加年度
 - ・国内大会の成績
 - ・国際大会の準備チームに選出されたか
 - ・国際大会に選手として出場したか
 - ・国際大会に出場した場合の成績
- 参加，成績等の証明書が存在する場合にはそのコピーを添付してください。
- このほかに，学業や研究活動に対して表彰（都道府県レベル以上）を受けた場合は，受賞内容を記載した資料と，証明書のコピーを添付してください。
- ※d A4用紙3ページ以内（およそ5,000字以内）で具体的な経験内容を本人が説明する文章を添付してください。活動内容を示す資料（広報等）があればコピーを添付してください。
- ※e 面接審査に関連して以下の準備を行い，資料を提出してください。
- ・志願者は事前にポスターを作成し，面接審査の説明に使用してください（サイズはA0：縦120センチ，横85センチ程度を予定しています）。面接ではポスターを掲示し，それを使って高等学校等在学中に行った自然科学・健康科学・人文科学等に関連した活動と大学入学後の抱負について説明してもらいます。発表内容に関連した知識・能力について確認するための質問等を行う予定です。グループで行った活動の場合，本人の貢献した部分が明確になるように説明してください。
 - ・ポスターの内容を事前に把握するため，ポスター発表の概略をA4用紙3ページ以内（図・表の使用可）で説明したものを出願時に提出してください。面接の際に使用するポスター自体を出願時に提出する必要はありません。

Ⅶ 出願期間・提出方法

(1) 出願期間

提出書類・資料の送付は、**書留速達郵便**とし、下記の期間に**必ず到着**するように出願してください。ただし、11月7日（土）以降に到着したものは、11月5日（木）までの消印があり、かつ、書留速達郵便で送られたものに限り受理します。

受理後、本人及び学校長に受験番号を送付します。

出願期間：平成27年11月2日（月）～11月6日（金）

(2) 提出方法

学校長は、志願者の提出書類・資料（「Ⅷ 提出書類・資料」参照）を取りまとめ、「提出書類等送付用ラベル」（本学 Web サイトに掲載）をしっかりと貼り付けた封筒に一括して入れ、上記の**出願期間中に必ず着くように**、書留速達郵便で送付してください。

なお、2名分をまとめて郵送する場合は、人数を確認の上、1名分ずつ封筒に入れて封をしたものを、別の封筒に取りまとめて送付してください。

あて先 〒113-8799 日本郵便株式会社本郷郵便局留
東京大学 推薦入試担当室

(3) 検定料

17,000 円（銀行振込に限ります。ただし、ゆうちょ銀行・郵便局は利用できません。）

志願者は、検定料振込依頼書の太枠で囲まれている記入欄に、必要事項をすべて黒ボールペンで正確・明瞭に記入し、A・B・C票を切り離さずに銀行へ持参してください。

※ 第1次選考不合格者に対しては、13,000 円を返還します。返還手続きの方法等については、12月1日（火）頃通知します。前述の場合を除いて、いかなる理由があっても既納の検定料は返還しません。

Ⅷ 提出書類・資料

出願に当たって提出を要する書類は、学部（医学部においては、医学科または健康総合科学科）ごとに次の表で○を付したものです。

志願学部等に応じ、次の書類を取りまとめ、学校長から提出してください。「Ⅵ（2）各学部の推薦要件・面接方法等」の「学部が求める書類・資料」については、提出資料一覧で整理して添付してください。

提出書類のフォーマットは、本学Webサイトに掲載のものを使用してください。提出書類は、特に指定のない限り日本語で作成してください。

なお、各書類において求める志願者の学習成果等については、原則として、高等学校等在学中のものとしします。

	入学志願票	調査書	志願理由書 (様式1)	学校長からの 推薦書 (様式2)	学習状況 調査票 (様式3)	提出資料 一覧
法学部	○	○	○	○	—	○
経済学部			○	○	○	○
文学部			○	○	—	○
教育学部			○	○	—	○
教養学部			○	○	○	○
工学部			○	○	—	○
理学部			○	○	—	○
農学部			○	○	○	○
薬学部			○	○	○	○
医学部医学科			○	○	○	○
医学部健康総合科学科			○	○	○	○

- 注) ① 志願理由書, 学校長からの推薦書, 学習状況調査票, 提出資料一覧については, 学部ごとに様式が異なりますので, 注意してください。
- ② 志願者が各学部の要件に合致することを具体的に証明する資料(執筆した論文, 外国語に関する語学力の証明書など)は, 提出資料一覧を一番上に付けて, ホチキス留めするか, ダブルクリップなどでまとめてください。
- ③ 各様式の字数制限がない箇所では記入スペースが足りない場合には, 記入欄の枠を拡大するか, 別紙として添付してください。別紙を添付する場合は, 記入欄にその旨を記入した上で, 別紙の冒頭において志願理由書又は推薦書のどの記入欄に対応するものであるかを明示すること。
- ④ 各様式はバラバラにならないよう, 様式ごとにホチキス留めにしてください。(左上方1箇所留め)

Ⅸ 合格者発表

(1) 第1次選考の結果発表・通知

平成27年12月1日(火)午後5時頃に, 第1次選考合格者の受験番号を本学 Web サイト及び本学携帯電話サイトに掲載します。

あわせて, 学校長及び志願者本人あてに「結果通知書」を簡易書留郵便で送付します。また, 第1次選考合格者には, 「結果通知書」のほか, 「第2次選考受験票」, 「大学入試センター試験成績請求票(国公立推薦入試用)貼付台紙」, 「受験者心得」及び「入学手続要領」を, 平成27年12月1日(火)頃に発送します。

このうち、「大学入試センター試験成績請求票（国公立推薦入試用）貼付台紙」について大学入試センターから12月中旬頃送付される「大学入試センター試験成績請求票（国公立推薦入試用）」を貼付し、平成27年12月25日（金）までに、東京大学推薦入試担当室あてに送付してください。

（2）最終合格者発表・通知

平成28年2月10日（水）正午頃に、最終合格者の受験番号を本学Webサイト及び本学携帯電話サイトに掲載します。あわせて、学校長及び志願者本人あてに「結果通知書」を簡易書留郵便で送付します。

X 入学手続

最終合格者は、Ⅸ（1）の「入学手続要領」に同封されている「入学手続書類」を下記の期間中に**必ず到着**するように、**書留速達郵便**で送付してください。

なお、本学に入学手続を行った者は、これを取り消して他の国公立大学・学部に入學手続を行うことができないので注意してください。また、入学手続を行った者は、本学及び他の国公立大学・学部の一般入試を受験しても、その合格者とはなりません。

入学手続期間：平成28年2月11日（木）～2月17日（水）

あて先 〒113-8799 日本郵便株式会社本郷郵便局留
東京大学 推薦入試担当室

※ 推薦入試の合格者が、特別の事情により本学に入學することが困難となった場合は、当該者の推薦を行った学校長からの「入学辞退願」を平成28年2月17日（水）正午までに推薦入試担当室に提出し、許可を得なければなりません。許可されなかった場合は、本学及び他の国公立大学・学部の一般入試を受験しても、その合格者とはなりません。

XI 入学後の学修

推薦入試による入学者は、入学後、文科一類・文科二類・文科三類・理科一類・理科二類・理科三類の6つの科類のうち、志望学部が個別に指定する科類に分かれ、教養学部にも所属して前期課程の学修を行います。前期課程修了後は、出願時に志望した学部等へ進学します。

前期課程においては、推薦入試による入学者について、学生の志望分野に対する関心や学ぶ意欲にきめ細かく応えることが可能となるよう、早期に専門教育に触れる機会の提供や、学修について個別に助言・支援する教員の配置などの措置を講じます。

【各学部が主に対応する科類】

法学部	・・・	文科一類
経済学部	・・・	文科二類
文学部	・・・	文科三類
教育学部	・・・	文科三類又は理科一・二類
教養学部	・・・	文科三類又は文科一・二類，理科一類又は理科二類
工学部	・・・	理科一類又は理科二類
理学部	・・・	理科一類又は理科二類
農学部	・・・	理科二類又は理科一類
薬学部	・・・	理科二類又は理科一類
医学部医学科	・・・	理科三類
医学部健康総合科学科	・・・	理科二類

【前期課程における科類の特徴】

文科一類：法と政治を中心にして社会科学全般の基礎を学び，関連する人文科学と自然科学の諸分野にわたって理解を深め，人間と社会について広い見識を養います。

文科二類：経済を中心にして社会科学全般の基礎を学び，関連する人文科学と自然科学の諸分野にわたって理解を深め，人間と組織について広い見識を養います。

文科三類：言語，思想，歴史を中心にして人文科学全般の基礎を学び，関連する社会科学と自然科学の分野にわたって理解を深め，人間と文化的・社会的営為について広い見識を養います。

理科一類：数学，物理学，化学を中心にして数理科学・物質科学・生命科学の基礎を学び，自然の基本法則に関する探究心を養い，科学や技術と社会の関わりについても理解を深めます。

理科二類：生物学，化学，物理学を中心にして生命科学・物質科学・数理科学の基礎を学び，自然の諸法則に関する探究心を養い，科学や技術と社会の関わりについても理解を深めます。

理科三類：生物学，化学，物理学を中心にして生命科学・物質科学・数理科学の基礎を学び，人間についての探究心を養い，生命と社会の関わりについても理解を深めます。

推薦入試に関する照会先

東京大学推薦入試担当室

nyuusi3@ml.adm.u-tokyo.ac.jp